2011 年 4 月 12 日改訂

東日本大震災 被災地支援活動
参加者の皆様方へ

日本バプテスト連盟
東日本大震災 災害対策本部
本部長　奥村敏夫

被災地支援活動のガイドライン

連盟派遣の物資輸送およびボランティア活動において、求められること・留意していること

十字架と復活の主イエス・キリストの御名を讃美します。

東日本大震災の被災者および被災地をおぼえて祈りをささげておられることに心からの感謝を申し上げます。そして、被災地支援活動に参加していきたいという尊いお気持ちを抱いておられることに、心からの敬意を表します。

日本バプテスト連盟・東日本大震災災害対策本部では、皆様のお気持ちを大切にしながら、出来得る限りの安全確保に努めつつ、支援活動を進めてまいります。皆様におかれましては、まず自らで健康管理や安全確保を行う中で、下記に掲げた事項に充分にご留意いただき、被災地の支援活動に参加していただきますようお願い申し上げます。

１．被災地支援活動に参加される方に求められること

※最も大事なことは、被災地の方々のご迷惑やご心労になることをしないことです。

①所属する教会の牧師もしくは代表者の了承を得ていること、年齢は原則として満 20 歳以上とします。

③活動中は、リーダーの指示に従ってください。

④原則、写真撮影はしないようにお願いします。

※とくに被災者(後ろ姿も)や、被災者の方々にとって大切な場所や物の撮影は絶対にしないでください。

⑤食事・トイレ・寝床の確保などは原則として自己手配で行ってください。

⑥ID カード(身分証明書)を常に身に付け、派遣時には指定の服装・装備で参加してください。

⑦自宅から集合場所までの交通費は原則として自己負担で行ってください。

⑧保険は、連盟の保険に加入していただきます。必ず登録を行ってご参加ください。

２．物資輸送のガイドライン

①出来る限り、現地の要望に沿って、物資を供給するべく輸送に務めてください。

②到着時、現地の要望が変わっている場合など、不要だと判断された物資については持って帰ってください。

③現地の教会代表者などの地域の責任者に、あらかじめ電話で連絡をしておくよう務めてください。

④別な場所への立ち寄りなど、計画以外の行動は出来るだけ控えるようにしてください。

３．放射能について

原発の放射能の危険が指摘されている地域に行く場合、もしくは通過する場合は、後に起こるかもしれない放射能汚染による疾病などの健康被害に関しては、日本バプテスト連盟は責任を負えません。参加者ご自身でリスク管理をお願いします。その上で、下記の点にご留意ください。

①災害対策本部として、リスク管理の仕方や健康状態のチェック、必要な助言、ヨウ素剤の手渡しなどは個別に行わせていただきます。(ヨウ素剤の取り扱いは薬剤師の指導および管理のもとに行っています)

②雨に濡れない、肌を露出しない、マスク着用や着替えなど、可能な防護措置をご自身の責任で行ってください。

③万一放射線値が高い状況になった場合、ヨウ素剤などをご自身の責任で服用してください。

④ラジオや携帯電話のウェブサイト等で、最新の情報に接しながら行動してください。

４．余震などによる二次災害について

東日本一帯においては、4 月 12 日現在も相次いで余震が発生しております。今後、3.11 巨大地震と同レベルか

あるいはそれ以上の余震が来る可能性も否定できません。家屋の倒壊や土砂崩れ、津波などにより、今後、被災地に行くボランティアが被災する可能性があります。それに関しましては、日本バプテスト連盟は一切の責任を負うことは出来ません。加入している保険会社からも適用外であると通告されています。二次災害も考えられる被災地支援活動の参加については、ご自身の責任においてご参加いただきますようお願い申し上げます。

５．注意事項

本ガイドラインは変化する被災地の状況によって変更が生じます。最新のものを適用しますのでご注意下さい。

2011 年 4 月 10 日制定
2011 年 4 月 12 日改訂